

14 読書



子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上でとても大切なものです。



乳幼児 家族と一緒に20分

乳幼児期の子どもには、読み聞かせなど家族の協力が重要です。
家族一緒に読書の習慣をつくりましょう。

【具体例】

- 「読書の日」「読み聞かせの時間」などを決めて、家族一緒に読書に親しみましょう。

小学生 朝読み夕読み20分

小学生の時期は、言葉や文章の意味を考えながら音読することが大切です。
朝や夕方の音読を続けましょう。

【具体例】

- 時間を決めて朝読み夕読みに取り組みましょう。
- 楽しい本を先生や家族に教えてもらいましょう。

中学生 ジャンルを広げて20分

中学生の時期は、読書の幅を広げることが大切です。
文学、科学、歴史、郷土など様々なジャンルの本に幅を広げて読みましょう。

【具体例】

- 各教科の学習に関する本を幅広く読みましょう。
- 公立図書館で様々な本を探しましょう。

高校生 自分を見つめる20分

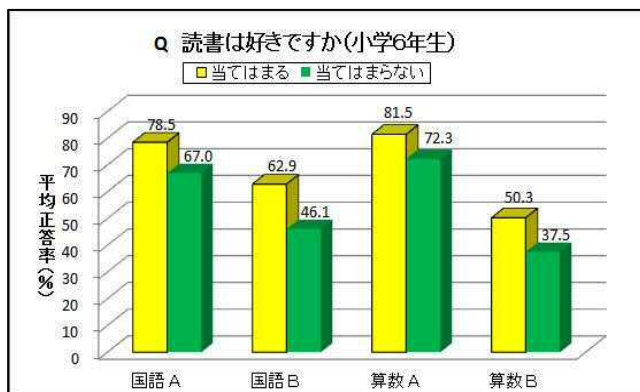
高校生の時期は、自分自身の生き方を見つめるためにも読書が必要です。
いつも身近に1冊の本を置き、1日20分の読書に心がけましょう。

【具体例】

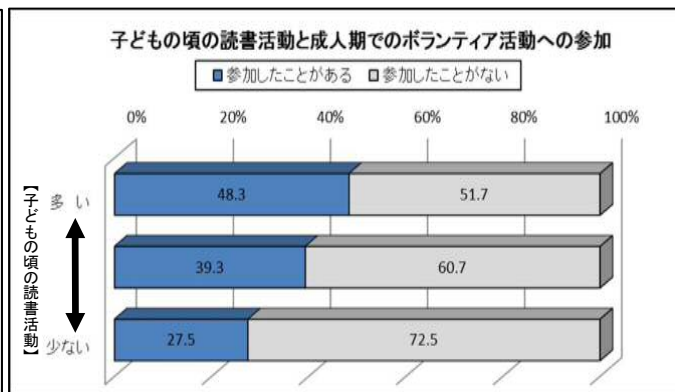
- 友達とお互いにおすすめの本を紹介し合ひましょう。
- ビブリオバトルなど読書の集いを計画しましょう。

「1日20分読書」運動～いつも身近に1冊の本を～

読書が好きな児童の方が、全国学力・学習状況調査での正答率が高い傾向が見られました(図1)。また、子どもの頃の読書活動が多い大人ほど、ボランティア活動に参加している人が多い傾向にあります(図2)。



【図1】平成29年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)



【図2】子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究(平成25年2月 国立青少年教育振興機構)